

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	後期	2年次
科目名	小児看護学概論 Introduction to Pediatric Nursing Principles					
担当教員	◎秦るみ子 溝口幸枝 石橋かず代 橋美保子					
目的	小児看護の対象とその特徴を理解し、小児看護の歴史的変遷や現代社会の情勢、家族機能の変化を把握し、小児看護の果たすべき役割と課題について理解することができる。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の対象とその特徴を理解できる。 2. 小児医療や看護の変遷について理解できる。 3. 小児看護における倫理的配慮、子どもの権利やインフォームド・コンセント(アセント)について理解できる。 4. 小児を取り巻く現代社会の特徴やその家族機能について理解できる。 5. 小児看護を行う上で必要な法律及び政策について理解することができる。 6. 学校保健の意義や現状、医療機関との連携について理解することができる。 7. 医療および小児看護の現状を理解し、看護の役割と課題を考えることができる。 					
他科目との関連	発達とライフサイクル、家族社会学、関係法規、社会福祉行政論、広域発展看護学概論 I 他					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				0.8
	その他	課題提出状況と内容、グループワークへの取り組み状況。				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	奈良間美保他 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院					
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ○二宮啓子, 今野美紀著:小児看護学概論 南江堂 ○松尾宣武, 濱中喜代編集:小児看護概論・小児保健, メヂカルフレンド社 ○日本子ども家庭総合研究所編:日本子どもの資料年鑑, KTC中央出版 ○中野綾美編:ナーシング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護, メディカ出版 					
備考 (受講上注意、事前学習等)	授業は、受け身にならず、各自が探究心をもって積極的に参加すること。社会情勢には常に興味を持って、子どもに関連する知見を深めるように努めること。					